

運営委員会だより

代表 瀧口典子

◇希望の見える2021年に

新型コロナウイルスに翻弄された2020年が明け、新しい年が始まりましたが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

感染者数はますます増加…先が見えず気の重い日々です。そこで、思い切って、群馬の森で太極拳の初稽古をしました。青空の下で伸び伸びと身体を動かすと生きている喜びが湧き上がってきます。

ぐんま教育文化フォーラムは、一時活動を再開したものの、部会活動はまたしばらく自粛せざるをえなくなってきました。

そんな中で、今回のニュースは、久々に高校生の生き生きした笑顔をお届けします。約1年ぶりに学校現場の取材が実現した伊勢崎清明高校の「新時代祭」…私たちに希望と勇気を見せてくれます。すべての行事ができなくなり、絶望的な状況の中から、発想を転換し、柔軟なアイデアと行動力で新しい行事を創造していった高校生と生徒を支えた先生方にエネルギーをいただきました。

◇歴史に学ぶ…「新時代」への模索

今回のコロナ禍の中で、改めて歴史に学

ぶということが言われています。感染症は、記録に残るだけでも古代ギリシア以来、ほとんど人類史とともにあり続けました。ペストやコレラ、チフスやインフルエンザなど、各種の感染症が数世紀ごとに人類を襲っています。しかし私は歴史の教師でありながら、例えば「スペイン風邪」と世界の歴史について自ら学び教えてきたらどうかと恥じ入るばかりです。「スペイン風邪」は1918年から1920年まで三度の流行を繰り返し、第一次世界大戦の戦死者よりもはるかに多く、日本でも約40万人前後が亡くなったと言われています。政府が戦争遂行のために情報を制限しマスクもそれに従ったことが爆発的流行を促進しました。そのわりに、教科書でも諸歴史学会でも殆ど取り上げられなかった世界史の一コマです。

同時に、それは戦争を終わらせ、新しい「国際協調」の時代を生み出しました。今、コロナ禍によって照らし出された社会の現実、その深層にある課題を見据えて、私たちはこれからどのような新しい社会を生みだしていくのか、模索していきたいものです。高校生の「新時代祭」に学んで。

今後の主な予定

2月 5日 (金) 13時～	スタジイ楽書会 (フォーラム)
2月12日 (金) 14時30分～	原発と自然エネルギー研究部会 (フォーラム)
2月13日 (土) 11時～	3色パステル画寺子屋 (フォーラム)
2月19日 (金) 13時～	スタジイ楽書会 (フォーラム)
3月 5日 (金) 13時～	スタジイ楽書会 (フォーラム)
3月 7日 (日)	「さよなら原発アクション」に原発と自然エネルギー研究部会が原発文庫を出店 (高崎市役所前)

あくまでも予定であり、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって中止になる場合があります。参加を希望される方は事前に電話かメールで確認してください。

育ちと学び No. 46 ぐんま教育文化フォーラム

2021年1月29日 発行

〒371-0026 前橋市大手町3-1-10 群馬県教育会館3F

[TEL・FAX] 027-235-8876 [IP電話] 050-3419-3803

[E-mail] g-kyoken@nifty.com

[URL] <http://gkb-forum.sakura.ne.jp>

スマホからホームページへ

